

道連ニュース

2025年11月号 No.227

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

こども食堂北海道ネットワーク活動報告

事務局長 松本 克博

第2回

「運営者+支援者+行政 交流会」が 溢れる笑顔の中で開催されました

10月16日木曜日13:30よりホテルポールスター札幌にて、道生協連が支援している「こども食堂北海道ネットワーク」主催の同交流会が開催されました。昨年度を大きく上回る70名の参加で、賑やかに！楽しく！互いの思いを交流し、子ども達が安心して健全に育まれる地域社会作りに向けての“決意”を共有しました。交流会の終盤には道生協連が中心的に進めている「若者応援・学生PJ」の活動が平専務より報告され、その広がりには運営者さんからは更なる連携協働へ要請が届けられ、中締め挨拶の中で中島会長より報告された「居場所づくり応援基金」設立報告では、沢山の参加支援事業者さんから賛意の拍手が送られておりました。最終の名刺交換タイムは30分の長時間になるなど、繋がりを求めあう各団体のエネルギーが交流する熱い時間となり互いの確信を確認しあい帰宅頂きました。



テーブル上には情報が一杯！

アンケートに書かれていた「直接触れ合う事で本音の話が聴けて良かった！！～行政関係者」のこの声こそが「会」の特徴を端的に示してくれておりました。コーヒーとドーナツでの交流会もいいものですね！
ご協力に感謝申し上げます！



協同組合ネット北海道副代表のご挨拶

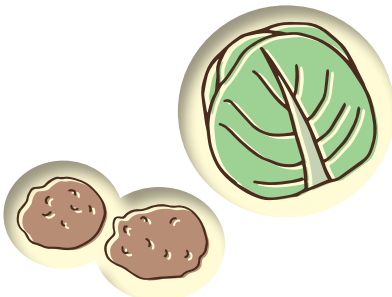


ほっかいどう若者応援★学生プロジェクトの報告

『キャベツとじゃがいもを収穫して ホットドッグで食べよう!』

～親子で笑顔の収穫体験！採れたて野菜で食と農を学ぶ～

去る10月4日(土)、秋晴れの空の下、北海道北広島市の「くるるの杜」で、第6弾となる親子向け食育イベント『キャベツとじゃがいもを収穫してホットドッグで食べよう（じゃがバター付）』が開催されました。親子34名と私たち事務局7名の計41名が参加し、土の匂いと子どもたちの歓声に包まれた、学びと感動の一日となりました。



日時：2025年10月4日(土)

場所：ホクレンくるるの杜（北広島市大曲）

主催：北海道生協連・ひとり親と子どもふぉーらむ北海道・(株)FUJI

協力：ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト

「重たい！」大きなキャベツに大奮闘



イベントの幕開けはキャベツの収穫から。畑に到着した子どもたちは、想像以上の大きさにびっくり。紫と緑の2種類の大きなキャベツを目の前に、「どれが一番大きいかな？」と目を輝かせながら品定め。小さな体で一生懸命にキャベツを引き抜く姿に、あちこちで笑顔がこぼれました。

続いては、じゃがいも掘り体験。「さやあかね」と「シャイニールビー」という2種類のじゃがいもが、土の中から次々と顔を出すたびに、「あった!」「こっちにも!」と喜びの声が上がります。参加者からは「キャベツやじゃがいもの収穫は普段の生活では体験できないので、子どもも楽しめてよかった」との声が聞かれ、親子で土に触れる貴重な時間となりました。

「自分で採ったから美味しい！」野菜嫌いを克服した瞬間



収穫後のお楽しみは、採れたてのキャベツを使ったホットドッグ作り。くるるの杜のスタッフの方々が用意してくださったパンやソーセージを使い、親子で協力して調理を楽しみました。

この日、特に感動的な場面が見られました。参加したある男の子は、実は大の野菜嫌い。イベントが始まった当初は「家に帰りたい」とぐずっていたそうです。しかし、自らの手でキャベツを収穫し、調理する体験を通して心境に変化が。「自分で作ったホットドッグに入ったキャベツを、少しずつ口に運び、ついには完食できたのです。その姿を見守っていたお母さんからは、『息子の成長が見られて本当に嬉しかった』と、感動の声が寄せられました」

嬉しいサプライズと、心に残る学び

熱々のホットドッグとじゃがバターでお腹が満たされた後、この日を締めくくる嬉しいサプライズが待っていました。くるるの杜のスタッフの方から「時間が少し余ったので、ピーマンもどうぞ」と思いがけないプレゼント。子どもたちは再び畑へ駆け出し、最後まで収穫の喜びを噛みしめていました。

今回のイベントは、単なるレクリエーションではなく、自らの手で土に触れ、力いっぱい野菜を収穫し、その場で採れたての味を堪能するという一連の体験は、参加した親子にとっても私たちにとっても食と農の深いつながりを五感で実感する貴重な機会となりました。

食べ物がどこから来るのかを肌で感じ、自然の恵みへの感謝

の気持ちが自然と芽生える、かけがえのない学びの一日となりました。



参加者の声 ※アンケートより抜粋

- 子どもたちがとても楽しんでいて、帰宅後も今日の収穫体験の話を誇らしげに祖母にしていました。早速収穫した野菜を家族で美味しくいただきました。ぜひまた参加したいです。
- 野菜嫌いの息子が、最初は帰りがたがっていましたが、収穫や調理を体験したことで「キャベツを食べてみよう」という気持ちになったようです。ホットドッグを完食できた時は、母として本当に嬉しかったです。
- 学生ボランティアさんが娘にとっても優しく寄り添ってくださいました。親だといつ手を出してしまう場面も、娘ができるまで根気強く見守ってくださり、心から感謝しています。
- ひとり親という同じ境遇の方たちと一緒に参加することで安心感があり、お土産の野菜で家計が助かるといった気持ちを共有でき、いつもとは違う楽しい時間を過ごすことができました。

地域の輪で子どもを支える

子どもの居場所づくり応援基金

設立記者会見報告

協同組合ネット北海道は、「2025国際協同組合年」を記念し、地域の子どもの孤立を防ぎ、安心して過ごせる居場所づくりを支援するため「子どもの居場所づくり応援基金」を設立しました。9月12日の設立総会を経て、9月30日には北農ビルで記者会見を開催し、多くの報道陣が集まりました。



日時：2025年9月30日（火）
10:00～11:00
場所：北農ビル11階会議室

基金設立の背景と目的

近年、道内では子どもたちの孤立を防ぐ「こども食堂」が広がりを見せ、現在では約370カ所にのぼります。しかし、その立ち上げや運営には資金不足が大きな課題となっています。

記者会見の冒頭、協同組合ネット北海道の副代表で本基金の運営委員長も務める当連合会の中島会長理事

子どもの居場所づくり応援基金助成要項

子どもの居場所づくりを通じて、地域コミュニティの人々を「つなぐ」活動の立ち上げを応援します。

- 助成金額 1団体 **上限10万円**（10団体程度を助成）
- 助成対象の目的 子どもが安心して過ごすための居場所の創出、地域社会のつながりの強化、食料の確保など。
- 助成対象の団体 2025年10月1日から2026年3月31日 2025年10月1日10時から10月31日17時まで
- 申請方法・申請先 申請先は、協同組合ネット北海道（〒060-0801 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号）に提出してください。
- 助成対象の団体の条件 ① 子どもの居場所づくりを目的として活動している団体 ② 協同組合ネット北海道の加盟団体であること ③ 協同組合ネット北海道の承認を得た活動計画があること

さらに詳しい要件は、こちらをご覧ください。

協同組合ネット北海道
「子どもの居場所づくり応援基金」事務局（札幌市中央区南一条西五丁目1番1号）
〒060-0801 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号
TEL: 011-221-1111 FAX: 011-221-1112
E-MAIL: info@net-hokkaido.jp

子どもの居場所づくり応援基金 寄付受付中

企業・団体・個人のみならず、子どもたちが安心して過ごすための居場所の創出、地域社会のつながりの強化、食料の確保など。

● 企業・団体・個人のみならず

子どもたちが安心して過ごすための居場所の創出、地域社会のつながりの強化、食料の確保など。

● 協同組合ネット北海道

「子どもの居場所づくり応援基金」事務局（札幌市中央区南一条西五丁目1番1号）
〒060-0801 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号
TEL: 011-221-1111 FAX: 011-221-1112
E-MAIL: info@net-hokkaido.jp

は、「少子化や核家族化が進む中、子どもたちが大変な思いを抱えている現状がある」と指摘。その上で、「子どもたちの孤立を防ぎ、安心して過ごせる居場所作りを応援するため、地域社会のつながりを育む活動を応援していきたい」と、基金設立の意義を語りました。

本基金は、J A北海道中央会をはじめとする道内16の協同組合・団体が連携して立ち上げたものです。初年度は、2025年4月以降にこども食堂などを新たに開設した10団体を対象に、食品購入費などの経費として最大10万円を助成します。

記者会見の様子

記者会見にはメディア9社（UHB、TVH、HBC、HTB、STV、北海道新聞、十勝毎日新聞、釧路新聞、北海道協同組合通信）が参加しました。

会見には、運営事務局を代表してJA北海道中央会の津村則安参事、ホクレンの佐藤裕司部長、北海道労

働金庫の千葉利裕副理事長、そして当連合会の中島則裕会長理事が登壇しました。

当連合会の平照治専務より基金の概要が説明され、質疑応答が行われた後、記念撮影で締めくくられました。



基金の概要

助 成 対 象：2025年4月以降に新たにこども食堂等の居場所を提供する事業を北海道内で開始した、3名以上の民間非営利団体

助 成 規 模：1団体あたり上限10万円、10団体程度を予定

対 象 経 費：食品購入費、会場費、消耗品費、保険料など※人件費・謝金は対象外

助成対象期間：2025年11月～2026年3月

申請受付期間：2025年10月1日(水) 10:00～10月31日(金)

助成決定通知：2025年11月中

助 成 金 振 込：2025年12月10日

実施報告書提出：2026年4月30日（期限）

